

## 減少止める仕組み模索

城下町の面影をいまに残す金沢の町家。貴重な歴史的建築物だが、年間約100軒のペースで減りつつある。北陸新幹線が開業し、市街地でホテルやマンション開発が進むなか、町家の継承や活用を目指すNPO法人「金澤町家研究会」の川上光彦理事長(70)に現状や課題を聞いた。

NPO法人「金澤町家研究会」理事長  
川上 光彦さん

川上  
光彦さん 70

——町家はどのくらい残っているのですか  
1950年以前に建てられた町家や武士系住宅、近代和風住宅のことを「金澤町家」と呼んでいます。現在、町中には6千軒ぐらいあります。  
——壊される理由は建物が古くなつて暮らしにくく、地震や火事のときに危ないかも、と思う方が多いようです。特に建物を相続する

風景は昔に比べ、一変しました。裏通りも建てかわり、町家が連なって残っている所は少なくなっています。大きなお屋敷を見に行くこともあります。ですが、しばらくして壊されて更地になつたケースも何度も見てきました。

——京都市では京町家の全・継承のための条例があります。取り壊す場合は1年前のけ出を義務付ける条例や改を難しくさせている建築基法の適用を除外したりする例があります。金沢市も同

が、下手をすると悪い結果をもたらしかねません。わざと投資が進んで、うまくいかなかつたら撤退し、取り壊されることにもなりかねない。地元自治体を中心に対応する仕組みが必要です。

ときが難しい。複数の相続人がいる場合、壊して売ろうとの木造住宅は組み立て住宅なので、傷んだ部材を補修すればいくらでももちます。耐震や延焼防止の対策をすれば、一定の効果もあります。

——町家が減り、町並みも変わりましたか

風景は昔に比べ、一変しました。裏通りも建てかわり、町家が連なつて残っている所は少なくなっています。大きなお屋敷を見に行くこともありますが、しばらくして壊されるので更地になつたケースも何度も見てきました。

——空いている町家とそれを買いたいという人はどのくらいいるのですが

金沢市から委託を受け、オーナー（町家の所有者）とユザー（購入や賃貸希望者）とのコーディネート事業をし

このうち30件ほどが成約しました。  
——所有者の登録が少な  
ですね  
空き家は多いのですが、  
場に出でこないものが多い、  
町家を所有する高齢者の方  
施設に入っていたり、売り  
いとも貸したいとも思つて、  
なかつたり。  
——京都市では京町家の  
全・継承のための条例があ  
そうです  
取り壊す場合は1年前の  
け出を義務付ける条例や改  
法を難しくさせている建築基  
法の適用を除外したりする  
例があります。金沢市も同  
仕組みをつくるよう、市に  
望していますが、まだにこ  
ぎがみられません。京都が  
ついているのに、金沢でやら  
いでどうするんだという気  
ちです。  
——観光客が増えて活用

れているという話も聞きました。地元でうまくやっていけばいいが、特に大型の町家は地元だけではカバーしきれない。外部からの投資を含め、この機会にうまく改修・整備が進んでいけばいい。それが金沢の歴史的な資産の継承・活用につながっていく。

今はいいタイミングですが、下手をすると悪い結果をもたらしかねません。わざと投資が進んで、うまくいかなかつたら撤退し、取り壊されることにもなりかねない。地元自治体を中心に対応する仕組みが必要です。

かわかみ・みつひこ 1947年、金沢市出身。京都大で建築と  
都市計画を学ぶ。76年に金沢大工学部助手となり、現在は金沢大名  
誉教授、金澤町家研究会理事長。

れているという話も聞きました。地元でうまくやっていけばいいが、特に大型の町家は地元だけではカバーしきれない。外部からの投資を含め、この機会にうまく改修・整備が進んでいけばいい。それが金沢の歴史的な資産の継承・活用につながっていく。今はいいタイミングですが、下手をすると悪い結果をもたらしかねません。わざと投資が進んで、うまくいかなかつたら撤退し、取り壊されることにもなりかねない。地元自治体を中心に対応する仕組みが必要です。

ています。事業を始めた2  
11年から17年4月までに  
一ナーレコード登録が64件、ユーベ  
登録が2226件ありました。

課題では  
ユーザ登録者は増えてい  
て、町家は県外からも注目さ  
れている。「投資」と考えら  
れる。

(聞き手・伊藤穂)